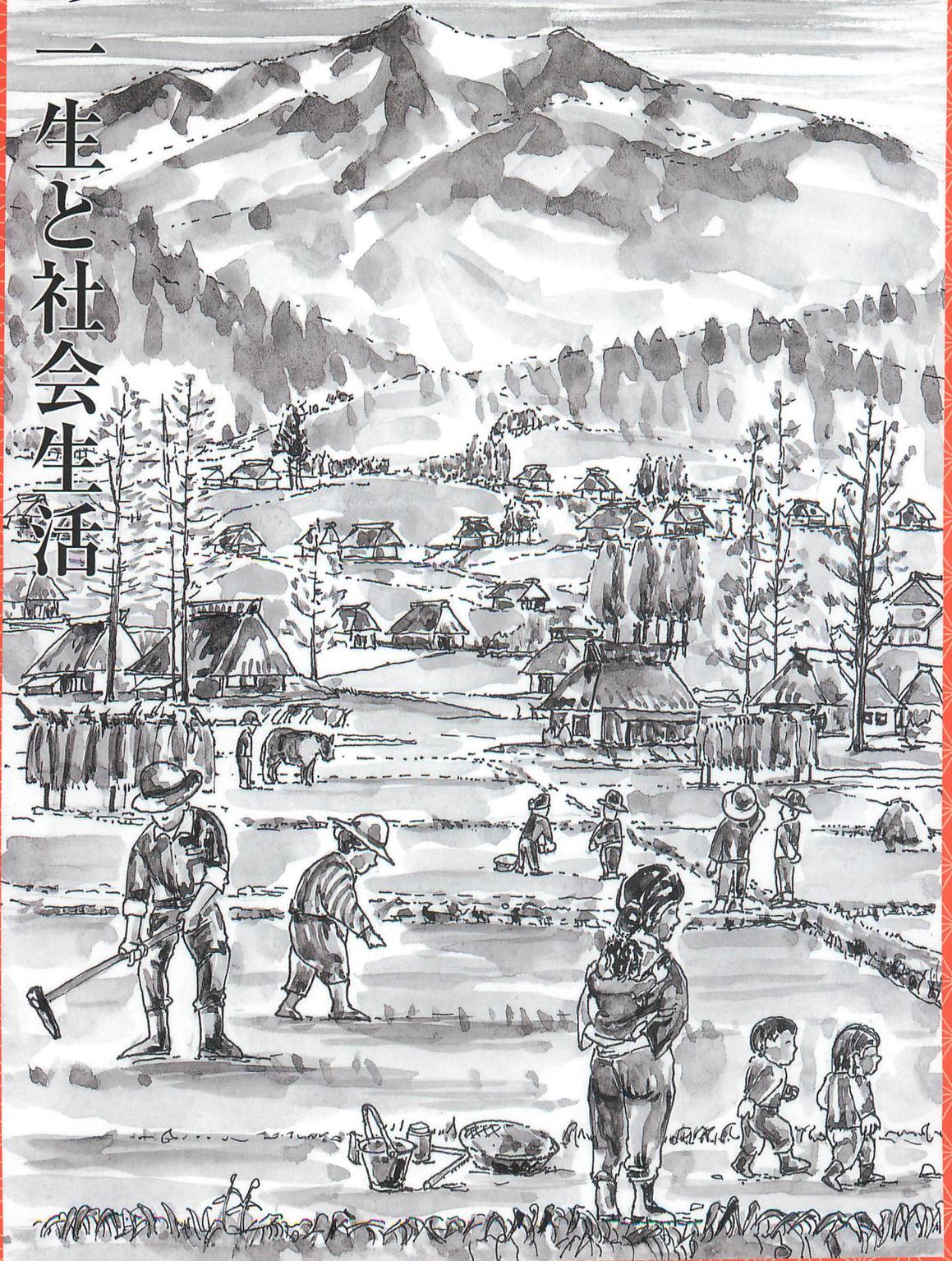


人の  
一生と  
社会生活



# 目次

口 絵

刊行のことば

上田市誌刊行会長

上田市長 平尾 哲男

監修のことば

東京大学名誉教授・前国立歴史民俗博物館長 石井 進

まえがき

凡 例

地 図

はじめに……………1

民俗とは……………民俗の相互関連……………民俗の風土と歴史的背景……………民俗編の編さんの意義……………分冊の位置づけ

## 第一章 社会生活

第一節 ムラやマチの暮らし……………5

一 ムラやマチができた言い伝え……………5

(1) ムラやマチができた言い伝え……………5

移住……………城下町としてできたマチ……………落人のムラ……………信越線の開通によるものほか

二 最初に住み着いた家……………11

(1) 最初に住み着いた家の呼び名……………11

目次

	クサワケとかシバキリと呼ぶ家	侍町と呼んでいた
(2)	最初に住み着いたとされる家	12
三	ムラやマチの境	12
	川・堰・道路がムラやマチ境	
四	ムラやマチの役員	12
(1)	役員の種類	13
	地区代表者	副自治会長・会計
		理事・幹事・協議員など
(2)	役員の任期	14
(3)	役員の選出	15
	昔のやり方	選挙
		推薦・選考
		総会で承認
		互選
(4)	役員の仕事	17
五	ムラやマチの寄り合い	19
(1)	一年最初の集會	19
	一月一日に行く	一月に行う
(2)	一年の最後の集會	21
六	ムラやマチの費用	21
(1)	呼び名	21
	区費―自治会費	区費
		自治会費
		賦課金・分担金・組費など
(2)	区費の決め方	22
	等級(段階)がある	昔は等級、今は平均割り
		等級の数が少なくなる
		木の売却費や小作料
(3)	自治会費の集め方	23
	個人が届ける	係が集める
		特別な費用
(4)	使い道	26

七	ムラやマチの仕事	27
(1)	仕事の呼び名	28
(2)	仕事の内容	28
	道路の改修維持管理	
	堰普請	
	山仕事	
	清掃・雪かき・火の用心など	
(3)	仕事に出ないとき	33
	呼び名	
	出不足を出す	
	出不足金の額	
	出不足は出さない	
	代理人を出す	
八	ムラやマチの財産	35
(1)	建物	36
(2)	建物の移り変わり	38
(3)	道具類	40
(4)	共有地	40
	山林	
	田畑	
	神社	
	公民館・集会場・墓地など	
(5)	ため池	43
九	ムラ入りやマチ入り	43
(1)	入る手続き	44
	自治会長に届ければよい	
	財産区に入会金を出す	
	集会所などを使う権利金を出す	
	自治会に入会金などを出す	
(2)	隣組入り	46
	手土産を持ってあいさつ回り	
	回覧板や会合のときに紹介	
(3)	分家の場合	47
	転入者より有利	
	分家も転入者と同じ	



第四節 家……………80

一 相続……………80

呼び名 相続する人 譲る時期

二 主婦の座……………81

主婦が座を譲ることの呼び名 譲る時期

三 隠居……………82

同居隠居 別居隠居 隠居はない

四 本家と分家……………83

呼び名 つきあい 分家に出る人 同族の呼び名

## 第二章 人の一生

四つの節目……………89

第一節 婚姻……………89

一 結婚のきっかけ……………90

仲人結婚 恋愛結婚

二 婚約……………92

見合い 風呂敷 樽入れ(酒入れ) 結納

三 婚礼までの儀礼……………97

荷送り 婿入り 見立て

四	嫁入り……………	100
	生家を出る    中宿ではオチツキの餅とお茶    入家儀礼    座敷に座るまで    杯ごと    里帰り	
	近所、親戚への紹介	
	第二節 妊娠・出産……………	107
一	妊娠したことを……………	107
	姑への知らせ    いつごろ知らせるか    嫁の言葉    姑の言葉    子宝に恵まれるために	
二	安産のために……………	110
	(1) 出産前のまじないや、やったこと……………	110
	岩田帯    安産のお守り    よく体を動かす    お便所掃除の効験	
	(2) 出産のときのまじないや、やったこと……………	112
	帯の間に小石    生卵を飲む・大根ひばの腰湯	
	(3) 近くにある安産の神仏……………	112
	ムラの氏神様    北向観音・漆戸の子育観音	
三	お産……………	113
	(1) お産の場所・部屋・敷物……………	113
	初産は実家で	
	(2) 手伝う人……………	114
	とりあげばあさん    産湯を沸かす	
	(3) 産後の始末……………	115
	のちざん（後産）    へその緒	
四	誕生をまず第一に知らせた人……………	116
	夫・婚家・実家の両親	

五 産婦が最初に口にしたもの……………117

おかゆ・くず湯・ドーサン湯

六 出生後の行事……………117

産湯 産飯 産着 お七夜 サンシ(産婦のこと)の床上げ

第三節 年齢に伴う儀礼……………121

一 お宮参り……………122

三十日前後 お宮参りのやり方 赤飯のふるまい 顔に印をつける 上田大神宮でのお宮参り

子育てのための神仏

二 食い初め……………126

食い初めが行われる日 膳をそろえる 口元へ、食べるまね 小石で歯固め

三 誕生祝い……………128

餅を背負わせる 箕の中に入れる

四 七五三の祝い……………130

氏神に参詣

五 一人前……………131

(1) 年齢による標準……………131

大人の仲間入り 赤飯と背広・晴れ着で祝う

(2) 一人前の仕事量……………133

ミツマタでの田起こし(男子) 田植え面積(男・女) 力仕事(男子) 機織り(女子)

巧みな技(男・女)

六 厄年……………135

厄除け・厄落とし

七年祝い……………136  
 還暦ほか……………

第四節 死・喪……………137

一 臨終……………138

死の兆し 魂呼び 死に水をとる

二 死者の扱い……………139

目を落とした直後 枕団子・枕飯 通夜 湯灌 ニツカン（入棺）

三 葬送の準備……………142

知らせ 葬具作り 穴掘り 料理方 帳付け

四 葬礼……………145

土葬時代の吊い 野辺送り 回り場で外引導 埋葬と野帰り 火葬 告別式 忌中法事

悔やみ念仏 特別な葬法 神葬祭

五 供養……………151

初七日と四十九 位牌分けと形見分け 年忌

執筆分担

表紙絵・挿絵

民俗調査協力員

話者

あとかぎ

参考文献

上田市誌の編さん組織

表紙絵 一昔前を想定した上田市内の農山村風景  
 地模様 麻の葉模様 産着に用いられ出世柄といわれた

上田市誌 民俗編(1)

# 人の一生と社会生活

発行 平成十二年三月二十日

編集者 上田市誌編さん委員会

発行者 上 田 市

上 田 市 誌 刊 行 会

上田市大手一―一―一六

電話 〇二六八―三―四一〇〇

印刷所 信毎書籍印刷株式会社

長野市西和田四七〇